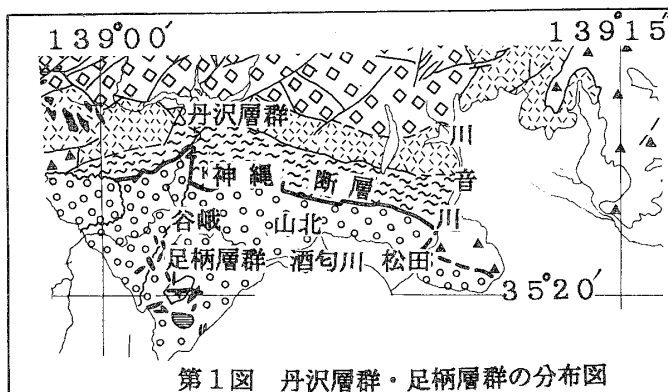


171 足柄地域の基盤変形

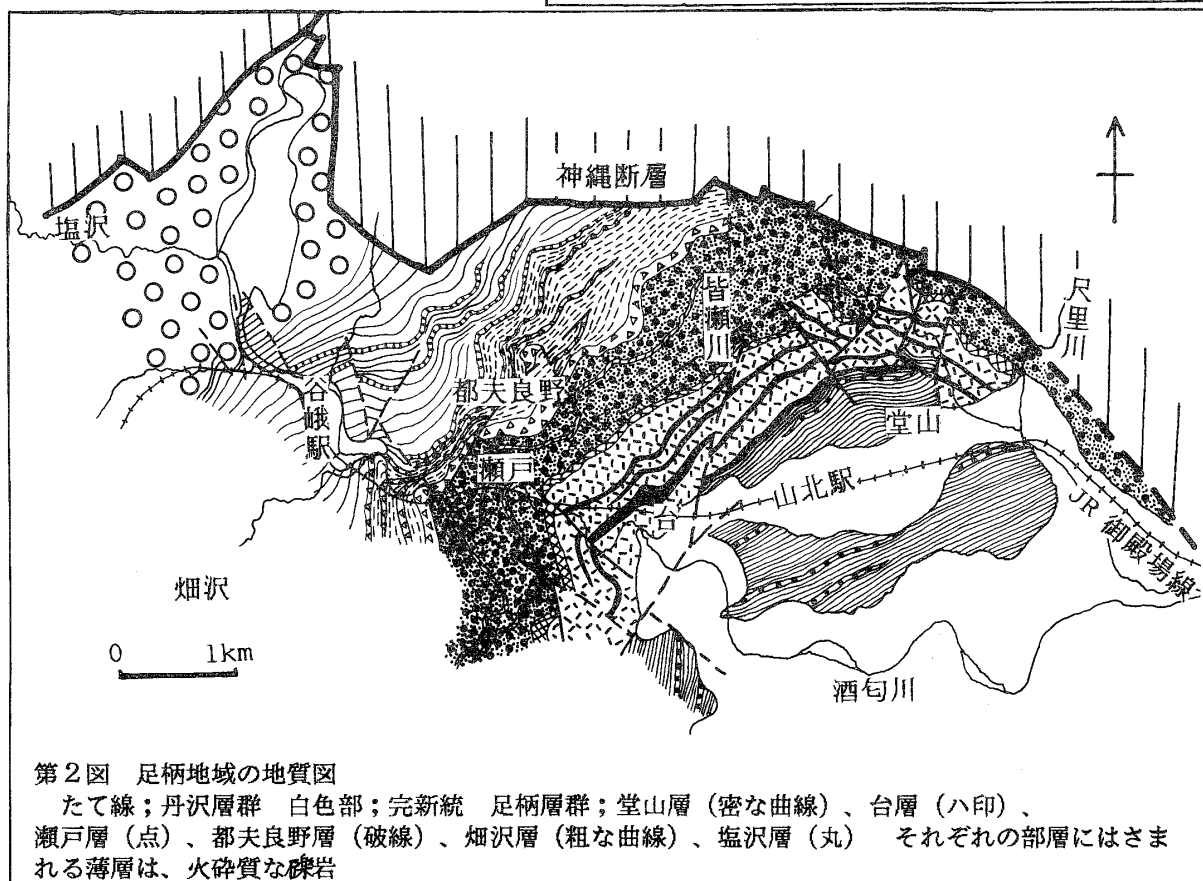
角田史雄 (埼玉大学教養部)

Deformation and dislocation of the Tanzawa Group developed in Asigara Area : Fumio Tsunoda

従来から考えられていた足柄層群 (第1図) のうち、その東半分のものは、いわゆる緑色凝灰岩層・石灰岩のレンズ・酸性凝灰岩層をはさみ、丹沢層群と考えられる (第2図)。このことから、おおよそNW-SE方向の神縄断層の東側部分は、E-W方向の丹沢層群の一般走向が形づくられた後に、まったく異なる古応力場で形成されたと結論される。さらに、丹沢層群の分布域側の隆起・削剝と足柄層群の分布域側の沈降・堆積とは、ほぼ同時に進行しているので、これらの境界部に存在する神縄断層の発生が隆起と沈降との差動運動にかかわっていることは確実である。また、丹沢層群中の断層系との対応関係から、神縄断層は再動断層である。



第1図 丹沢層群・足柄層群の分布図



第2図 足柄地域の地質図

たて線; 丹沢層群 白色部; 完新統 足柄層群; 堂山層 (密な曲線)、台層 (ハ印)、瀬戸層 (点)、都夫良野層 (破線)、畑沢層 (粗な曲線)、塩沢層 (丸) それぞれの部層には含まれる薄層は、火砕質な礫岩